

つなげる・広げる多様性の輪

「コミュニティ」と移民

オーストラリアは、多年間を期間とする多文化様な海外からの移民による共生の計画に基づき、イターバシティーの経済的な側面だけに注目しているわけではない。移民者が仕事だけでなく、生活者として地域社会に溶け込んでいくことにも大きな価値を置いている。このため、住民に最も近い存在である地方自治体や「FACES OF MELTON」という連団体は、多様な人々が地域社会の一員となるよう様々な施策や事業を進めている。

19年には図書館併設の市民活動施設で、海外出身のアーティストが出身国・地域や文化など様々な背景を持つ12人の市民の肖像画を作成、展示する「FACES OF MELTON」というイベントが行われた。多様な性を尊重する姿を反映させたこの展示には、市内外から多くの人が訪れ、イベントの担当者は「メルトン市が多様な文化的価値観の受け入れに寛容であることが広まった」と成果を語った。

また、「食を通じた交流も効果的だ」と説明。消防署には台所が設置されており、移民の代表者たちを消防署に呼んで自らの料理を振る舞ってもらうことで、相互理解を深めているという。

メルトン市はメルボルン中心部から北西約35キロに位置する人口16万人の新興都市。郊外のベッドタウンとして人口が急増しており、その約37%が外国生まれの住民だ。同市は2017年からの5

連携した文化発信事業など異なる組み合わせの事例もあり、多様性の幅の広さを物語る。

「コロナウイルスのたを抱えているなど、連携強化は単純には進まない。こうした中、公用語が分からない移住者に非常時の行動を平時から母国語で理解してもらおう」となどを目的に、同担当官が移民コミュニティに入り、自分たちが信頼できる仲間だと理解してもらう活動を行っている。

メルトン市はメルボルン中心部から北西約35キロに位置する人口16万人の新興都市。郊外のベッドタウンとして人口が急増しており、その約37%が外国生まれの住民だ。同市は2017年からの5

連携した文化発信事業など異なる組み合わせの事例もあり、多様性の幅の広さを物語る。

「コロナウイルスのたを抱えているなど、連携強化は単純には進まない。こうした中、公用語が分からない移住者に非常時の行動を平時から母国語で理解してもらおう」となどを目的に、同担当官が移民コミュニティに入り、自分たちが信頼できる仲間だと理解してもらう活動を行っている。

メルトン市の挑戦

メルトン市はメルボルン中心部から北西約35キロに位置する人口16万人の新興都市。郊外のベッドタウンとして人口が急増しており、その約37%が外国生まれの住民だ。同市は2017年からの5

連携した文化発信事業など異なる組み合わせの事例もあり、多様性の幅の広さを物語る。

「コロナウイルスのたを抱えているなど、連携強化は単純には進まない。こうした中、公用語が分からない移住者に非常時の行動を平時から母国語で理解してもらおう」となどを目的に、同担当官が移民コミュニティに入り、自分たちが信頼できる仲間だと理解してもらう活動を行っている。

メルトン市はメルボルン中心部から北西約35キロに位置する人口16万人の新興都市。郊外のベッドタウンとして人口が急増しており、その約37%が外国生まれの住民だ。同市は2017年からの5

連携した文化発信事業など異なる組み合わせの事例もあり、多様性の幅の広さを物語る。

「コロナウイルスのたを抱えているなど、連携強化は単純には進まない。こうした中、公用語が分からない移住者に非常時の行動を平時から母国語で理解してもらおう」となどを目的に、同担当官が移民コミュニティに入り、自分たちが信頼できる仲間だと理解してもらう活動を行っている。

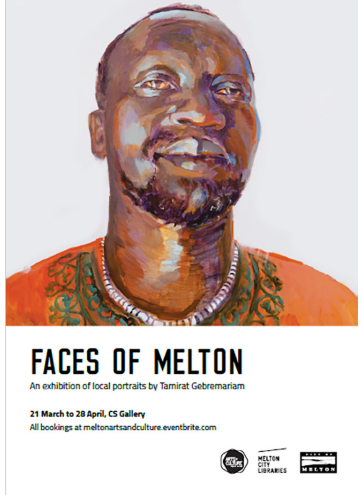
豪州に学ぶ

ダイバーシティ



自治体国際化協会・多文化共生部報告 3

1974年設立のECCV (Ethnic Communities Council of Victoria) もその一つで、個人会員



2019年にメルトン市で開催されたイベント「FACES OF MELTON」のポスター

メルトン市はメルボルン中心部から北西約35キロに位置する人口16万人の新興都市。郊外のベッドタウンとして人口が急増しており、その約37%が外国生まれの住民だ。同市は2017年からの5